ＮＶＡニュース

No.３７６　　2020.12.1 発行

一般財団法人長野県バレーボール協会
発行責任者　村上　里志

〒399-0714　長野県塩尻市広堀ノ内 2-2
TEL：0263-87-7927　FAX：0263-87-7928

ルートインカップ 第 73 回全日本高等学校選手権大会（春の高校バレー）長野県代表決定戦

男子は松本国際が8連覇 女子は都市大塩尻が3連覇で春の高校バレーへ

【長水協会理事長　竹内　護】

11 月 14 日（土）・15 日（日）の２日間、長野市ホワイトリングにて標記大会が開催されました。大会前の３日間で急速にコロナウイルス感染者が増大して、感染症警戒レベルが引き上げられる状況下、残念ながら保護者の入場も認められず、無観客での開催となってしまいました。10 月から行われた予選会、第１ラウンドを勝ち抜いた男女８チームずつが当地で熱戦を繰り広げた訳ですが、その素晴らしいプレーを今大会も長野放送様に放映して頂けたましたことは、非常に有意義なことだったのではないかと思います。

１日目の準々決勝では、男女ともシード校に 20 点前後まで食い下がったり、１セットを奪ったりするチームもあり、接戦が多く大変盛り上がりました。

２日目、男子決勝戦は、前日に準決勝で長野日本大学高校にマッチポイントを奪われたものの、そこから驚異的な粘りをみせて 33－31 と第２セットを奪い返し、逆転勝利を挙げた前年度優勝の松本国際高校と、13 年ぶりの県制覇に挑む名門岡谷工業高校との対戦となりました。エース藤島の強打と菅野のライト攻撃を軸に多彩な攻撃を展開してペースを握った松本国際が第１・２セットを奪えば、第３・４セットは五味と石坂の両エースの強打が決まり、ブロックにも冴えが見え出した岡谷工業が奪い返し、フルセットの激戦となりました。15 点マッチの第５セットは、７－７から持ち味を発揮した松本国際が連続得点で抜け出し、８連覇で 10 回目の優勝を飾りました。

女子決勝戦は、３連覇を目指して順当に勝ち進んだ東京都市大塩尻高校と、過去 16 回の女子最多優勝回数を誇る松商学園高校との対戦でした。都市大塩尻は、効果的なサーブと好セッター山岸の速いトス回しによって各セット序盤から順調に得点を重ねました。松商学園も新井や北原の強打で必死に食い下がりましたが、波に乗りきれず敗戦。セットカウント３－０のストレートで、都市大塩尻が８回目の本大会出場権を得ることとなりました。

今年の特別な環境下で、例年以上の作業（検温・消毒等）と人手が必要な状況でしたが、近隣の協会やママさん連盟の皆さんにもご協力いただき、何とか乗り切ることが出来ました。ご協力に感謝いたします。

また、特別協賛のルートイングループ様、協賛の関電工様には、今年も多大なご協力を頂きましたことに心より御礼申し上げます。

新年早々の本大会では、両チームの大活躍で長野にも明るいニュースが届けば、こんなうれしいことはありません。両チームのご健闘をお祈りいたします。

「春の高校バレー 長野県予選を終えて」

【松本国際高校男子バレー部監督　壬生裕之】

11 月 14・15 日に行われた春の高校バレー長野県大会最終ラウンド。松本国際高校は８年連続 10 回目の優勝をさせていただきました。

今年度、ほとんどの公式試合が中止されている中、この大会を開催して下さったことに感謝すると共に、今年の状況の中、必死に耐えて努力してきた高校生たちの気持ちやこの大会にかける想いが強く表現された、素晴らしい大会であったように思います。また、こういった状況の中でも、努力し励む姿、喜びまた悔し涙する姿を表現できるスポーツの力を、明るいニュースとして沢山の方に届けることができたのではないでしょうか。

１月５日から開催される春の高校バレー全国大会では、この長野県大会のレベルの高さを証明するために、また今年の長野県の高校生バレーボーラーの想いを背負い、精一杯戦ってきたいと思っております。

最後になりましたが、この大会の開催・運営にあたり、ご尽力いただきました全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

「第 73 回全日本バレーボール高等学校選手権大会にむけて」

【東京都市大学塩尻高校女子バレー部主将　西原桃香】

今年は、新型コロナウイルスの影響で学校も休校となり、練習や練習試合も例年よりできなかったことで、チーム内には不安がたくさんありました。私たちが目標にしていたインターハイや国体がなくなり、チームはバラバラになりかけました。

しかし、「春高は必ず開催される」と信じて、毎日の練習を怠らずに一生懸命やり続けて来ました。

先ずは、この大会を開催するにあたり、長野県高体連バレーボール専門部や(一財)長野県バレーボール協会、地元バレーボール協会の方々のご努力のおかげで何とか開催にこぎつけていただきましたこと、心から感謝申し上でます。

県大会では今まで練習してきたことを出し切るという気持ちで戦いました。自分たちで目標を設定し、相手に合わせることなく自分たちのバレーを思いきりぶつけることができたと思います。

今年の全国大会は３年生にとって最初で最後の大会になります。自分たちの持ち味であるコンビバレーを生かし、東京体育館で戦い抜きたいと思います。目標は「日本一」です。日本一までの道のりは決して楽なものではありません。ですが、日本でたった一つのチームしか獲ることのできない目標を掲げ、チーム全員一丸となって頑張ります。

2020-21 V. LEAGUE Division II (WOMEN)

V2女子開幕！ ルートインホテルズ Brilliant Aries 白星発進！

【県協会専務理事　村上里志】

10 月 31 日（土）女子Ｖ２リーグが開幕、上田市自然公園総合体育館にて開幕をホームゲームで迎えたルートインホテルズ BrilliantAries は、初戦を勝利し幸先の良いスタートを切りました。

初戦のアランマーレ（山形）戦、相手の強烈なサーブで崩されて第１セットを 16－25 で失うも、第２セット以降は主将の高橋愛未を中心に終始安定した戦いを展開。３セット連取で開幕戦を飾りました。

ルートインは、今年度加入したセッター横田美穂（岡谷市出身）が先発出場。強気なトスワークで新人ながらチームを牽引しました。また、同じくオポジットで先発出場した村山美佳（御代田町出身 長野日大高出）も要所でアタックとブロックを決めるなど大活躍。今後も二人の県出身プレーヤーの活躍が注目されます。

ルートインは翌日の群馬銀行戦に敗れるも、その後５連勝で６勝１敗と好調を維持。現在首位（11 月 27 日現在）を走っています。

最後になりましたが、コロナ禍でも献身的にご協力いただいた「うえだバレーボール協会」の皆様に敬意を表し、報告とさせて頂きます。

2020-21 V. LEAGUE Division I (MEN)

VC長野トライデンツ 岡谷市でのホームゲームで勝利ならず

【諏訪湖周辺協会理事長　市川敏文】

10 月 31 日（土）・11 月１日（日）、岡谷市民総合体育館においてＶＣ長野トライデンツのホームゲームが開催されました。

前週、昨年の覇者ジェイテクトをフルセットに迄追い詰める熱戦を繰り広げ、勢いを付けて臨んだ 31 日の第１戦でしたが、今一歩波に乗り切れず、サントリーサンバースに０－３で敗れました。

翌日の第２戦、第１セットは両者譲らない展開から、ＶＣ長野：戸嵜がサントリーのムセルスキーをブロックして 17－16 とリードするも、サントリーはリリーフサーバー：西田のサービスエースも出て 18－20。一方、ＶＣ長野はリヴァンにボールを集めて攻撃し、22-23 と追い上げたところで、又もやリリーフサーバーのサーブでサーブレシーブを乱され、22－25 でサントリーに先取を許しました。

第２セットも、１点を争う展開からサントリーは柳田、ムセルスキー、藤中にボールを回して 12－18 とリードを広げ、リヴァンのスパイクや中村・戸嵜のブロックで応戦したＶＣ長野を振り切り、17－25 でサントリーが連取しました。

第３セット、ＶＣ長野はリヴァン、戸嵜のスパイクが決まっていきなり４－０とリード。その後も中村や森崎のスパイクが効果的に決まり、リードを守って 25－21 でＶＣ長野がこのセットを奪い返しました。

しかし第４セットに入ると、サントリーが８－５とリード。柳田のサービスエースも出て徐々にリードを広げられ、ＶＣ長野のリヴァンを中心とする反撃も及ばず、サントリーに 17－25 で押し切られてしまいました。

結局、善戦及ばずセットカウント１－３で勝利することは出来ませんでしたが、それ程大きな差がある訳では無く、一戦一戦の経験値の積み重ねで、上位チームに勝利することは十分に可能だと感じました。今後の更なる飛躍に期待したいと思います。

2020-21 V. LEAGUE Division II (WOMEN)

GSS東京ホームゲーム 長野県初のリモートマッチとして開催

【佐久平協会理事長　宮澤智昭】

11 月 14 日（土）・15 日（日）、軽井沢町の風越公園総合体育館にてＧＳＳ東京サンビームズのホームゲームが、長野県初のリモートマッチで開催されました。

2018-2019 シーズンより、ＧＳＳ東京サンビームズが軽井沢町をサブホームタウンと位置付け、ホームゲームを開催するようになりました。それに伴い、県協会と地元協会である佐久平協会、軽井沢町スポーツ協会が開催をサポートしてきました。

今シーズンは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、無観客のリモートマッチとなりました。競技スタッフも最小限ということで、クイックモッパー、ボールリトリバーは配置せず、ワンボールで運用しました。日程が、春高予選のファイナルラウンド、中体連の新人戦地区大会と重なってしまい、スタッフ確保が大変でしたが、うえだ協会の協力を得て、無事開催することができました。

試合は、無観客のリモートマッチという独特の雰囲気の中、熱戦が繰り広げられました。残念ながらＧＳＳ東京サンビームズはホームゲーム２連敗となってしまいましたが、ルートインホテルズブリリアントアリーズは、長野県出身選手の村山美佳選手（長野日大高校出身）、横田実穂選手（岡谷市出身）の活躍により、軽井沢大会を２連勝で飾り、今後に勢いをつける大会となりました。

2020-21 V. LEAGUE Division II (MEN)

“新生” 長野☆GaRons 今季初のホームゲームを２連勝で飾る！

【大会副委員長　竹内　護】

直近の１週間で新型コロナウイルスの新規感染者が急激に増大したため、急遽無観客開催となってしまった長野☆ガロンズの今季最初のホームゲームが本拠地の須坂市で行なわれました。

昨年のチームから大きく若返った新生ガロンズ（最年長が 24 歳）は、ここまで２勝２敗とまずまずのスタート。チケットの売上げも昨年を上回っていただけに残念な思いで当日を迎えました。しかしながら、ＶＴＶのライブ配信も行なわれ、会場ではＭＣがツィッターに投稿された応援メッセージを紹介しながら試合を盛り上げるなど、今できる精一杯の工夫をして大会運営を行ないました。

１日目は第１試合が長野ガロンズ VS ヴィアティン三重の対戦、第２試合は東京ヴェルディと今季新規昇格したサフィルヴァ北海道の対戦でした。ガロンズは、第１セットこそ守備の精度で上回ったヴィアティン三重に奪われてしまったものの、第２セット以降は好調のエース兼主将：酒井の強打に引っ張られるように高瀬のライト攻撃、石坂のブロックと速攻、更には鰐川のブロックも効果的に決まるようになり、第２セット以降の３セットを連取。今季通算３勝目を挙げました。昨年は、トータルで１セットのみしか奪えなかったヴィアティン三重を相手に接戦を制したことは、今後の自信となりそうです。ガロンズの若さあふれる溌剌としたゲーム展開に大会関係者の期待も膨らみました。

第２試合は、両チームが持ち味を発揮して激しい攻防が展開されましたが、サーブ等でややミスの目立ったサフィルヴァ北海道に対して、要所を小松や蔵田、渡辺らの活躍で押さえたヴェルディが３－１で勝利しました。

大会２日目も、第１試合にガロンズが登場して東京ヴェルディと対戦しました。この日も、好調のガロンズは空中戦を制して接戦を抜け出し、３－０のストレート勝ちを収めました。第２試合は、前日ガロンズに破れたヴィアティン三重が必死に食い下がるサフィルヴァ北海道を各セットの終盤に振り切り、こちらもストレート勝ちを収めました。

今大会は、初めてのリモートマッチとなってしまいましたが、コロナ対策係を置いたり、ＳＮＳを利用して応援したりと、今まで以上の人手と工夫が必要になりました。しかし、ガロンズの選手達がホームで溌剌としたプレーを展開して活躍してくれたこともあって、大変充実した大会となりました。関係者の皆様に改めて感謝いたします。

大町にて全日本9人制女子セカンドリーグ開催される！

【県専務理事　村上里志】

11 月 21 日（土）～22 日（日）、大町市運動公園総合体育館にて「全日本９人制バレーボールトップリーグ」の２部にあたる女子「セカンドリーグ」が開催されました。

当初、本大会は三重県で開催を予定していましたが、新型コロナウィルスの影響を受け中止となり、代替地として比較的感染拡大が抑制されていた本県に要請がきたという経緯で開催となりました。

試合は、東女体大・日女体大・日体大の大学３チームに、パナソニック津と地元セイコーエプソンの実業団を加えた５チームによるリーグ戦で、特設コートにて２日間計 10 試合が実施されました。９人制らしいスピーディーなラリーとテクニックの応酬で、観る者を魅了する熱戦が展開されただけに、無観客試合とするには誠に惜しい内容であったかと思います。

結果は、テクニックに勝る攻撃陣と驚異的な守備力を併せ持つ東女体大が、終始安定した力を見せつけて全勝優勝を飾りました。ほぼ 10 年振りに全国レベルの９人制大会にチャレンジしたエプソンは、尻上がりに調子を上げ、最終戦で勝利して一矢を報いました。

最後になりましたが、コロナ禍でも本大会を引き受け、精力的に大会を運営いただきました中村会長・山崎理事長始めとした大北協会の皆様、また派遣審判員の皆様に心より感謝申し上げます。有難うございました。

佐藤副会長、県教育委員会表彰受賞！

【県専務理事　村上里志】

11 月 16 日（月）県庁において県教育関係者功労者表彰式が執り行われ、当協会副会長の佐藤錬二（74 歳）さんが、長年に亘る社会体育への功労を認められ受賞されました。誠におめでとうございます。

佐藤副会長は平成 3 年に当協会の評議員に就任、以後評議員 3 期 6 年、運営理事 1 期 2 年、理事 4 期 8 年、常務理事 4 期 8 年、平成 27 年からは副会長と、約 30 年間にわたり当協会の要職を歴任され、法人化以降の協会運営に多大な功績を残されました。

その間、平成 11 年～19 年には県高体連専門委員長、北信越高体連専門委員長、全国高体連専門部ブロック理事長を務められ、高校界の数々の全国・ブロック・県大会の運営に当たり、また今年度で 21 回を数える北信越高等学校新人バレーボール大会の創設にもご尽力されました。

また、バレーボール以外でも、松本教育事務所勤務時代には、今や高齢者のメジャースポーツとなっています、「ゲートボール」の県内への導入と普及に奔走されたとの逸話もお聞きしています。

北信越バレーボール連盟正副理事長・委員長会議開催について

【県専務理事　村上里志】

11 月８日（日）、富山市民総合体育館会議室において、第１回北信越連盟正副理事長・委員長会議が開催され、村上と坂田競技委員長（北信越連盟競技委員長）が出席しました。

北信越連盟の関係会議は、コロナ禍においてこれまで全て中止となっておりましたが、今回は「日帰り短時間」という形で開催されました。

席上、これまで事業中止に伴う問題と課題、また各県分担金などについて審議が行われ、今年度の極端な歳出減を見越して、本年度各県分担金を０円とすること決議しました。

また、例年 12 月に開催している北信越連盟組織団体運営会議を中止、正副理事長・委員長会議（12/12）に代えることとし、令和３年度の事業計画と予算、役員改選などについて協議することを確認して閉会となりました。

県スポーツ協会による「国体強化事業ヒヤアリング」が行われる

【県強化委員長　鏡味照明】

令和２年 11 月 16 日（月）、スポーツ会館において長野県スポーツ協会競技団体ヒアリングが実施されました。スポーツ協会から茅野専務理事他６名、当協会からは村上専務理事と強化委員会から鏡味、山岡、紅谷の計４名が参加しました。

最初にスポーツ協会より新型コロナ感染症の影響で当初 2027 年実施予定の「長野国民スポーツ大会」は 2028 年に先送りされることなどの説明があり、続く質疑応答では、国体種目に関しては成年男子の選抜チーム対応や成年女子のルートインホテルズが充実してきていること。少年男女は若手指導者が育っており、国体に向けての共通意識を持って取り組んでいること。ビーチバレーでは、施設の充実が課題であることなどを村上専務から説明しました。さらに中学校担当の山岡から、現在の中学校バレーの現状と指導者の適正配置のお願いや、普及と強化の連携の課題、今後クラブチーム化も促進していかなければいけない現状であることなども説明し、ご理解をいただきました。

最後にスポーツ協会から、長野県の財政は昨年の台風災害・コロナ関係で厳しい状況にあるが、国体強化についてはできる限りの支援をすること。昨年制定された「スポーツ団体ガバナンスコード」に則って、健全で活力ある協会運営を進めてほしいとの提言をいただいて終了しました。

令和2年度 収支会計 中間監査を実施

【県総務委員長　赤間善浩】

11 月 18 日（水）、協会の会計事務について、鈴木正弘監事、脇坂清志監事による中間監査を実施し、上半期分の帳簿等の確認を行いました。

今年度は、コロナ禍のため、多くの大会や事業が中止になり、例年に比べ収入と支出は少ない状況でした。監査員から特に指摘事項はなく、中間監査を終了しました。

2020-21 V. LEAGUE Division I（MEN）

VC長野トライデンツ 松本でのホーム戦に初勝利を挙げる！

【松本協会理事長　吉川　豊】

令和２年 11 月 28 日(土)・29 日(日)、松本市総合体育館にて年内松本市ホームゲーム最終戦が、パナソニックパンサーズを迎えて行われました。28 日(土)は第２セットこそ接戦に持ち込みながらも 23－25 で失い、０－３のストレートで敗れました。

気持ちも新たに臨んだ 29 日の第２戦、明らかに前日とは違ったゲーム内容で第２、第４、そしてファイナルセットも奪い、セットカウント３－２でホーム初勝利をつかみ取りました。

相手のパナソニックが主力である清水・クビアク両選手を怪我で欠いていたこともありましたが、ＶＣ長野は攻守にバランスが良く、今シーズンの初勝利となりました。1200～1300 人ほどの観客が観戦する中、昨シーズン準優勝のトップチーム相手に見応えのある内容で、場内は大いに盛り上がりを見せました。

次節のＦＣ東京戦に明るい展望が開けると共に、昨シーズンを上回る勝ち星を挙げてくれることに大きな期待がかかります。引き続き皆様方の応援を宜しくお願い致します。

11月 試 合 結 果

☆ 2020-21 V.LEAGUE Division1 MEN（11/1　VC 長野）
https://www.vleague.jp/form/a/25741

☆ 2020-21 V.LEAGUE Division2 WOMEN（11/1　ルートインホテルズ）
https://www.vleague.jp/form/a/26222

☆ 第 73 回全日本バレーボール高等学校選手権大会 県代表決定戦（11/14～15）
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2020siaikeka/R2.11.15haruko_daihyou2.pdf

☆ 2020-21 V.LEAGUE Division2 WOMEN（11/14～15　GSS 東京）
https://www.vleague.jp/form/a/26240
https://www.vleague.jp/form/a/26242

☆ 2020-21 V.LEAGUE Division2 MEN（11/21～22　GaRons）
https://www.vleague.jp/form/a/26539
https://www.vleague.jp/form/a/26541

☆ 桜田杯全日本 9 人制バレーボールセカンドリーグ 女子（11/21～22）
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2020siaikeka/R2.11.22V9second_league_women.pdf

☆ 2020-21 V.LEAGUE Division1 MEN（11/28～29　VC 長野）
https://www.vleague.jp/form/a/25772
https://www.vleague.jp/form/a/25773

12 月 スケジュール

12/5(土)～6(日)	2020-21 V.LEAGUE Division2 WOMEN（GSS 東京）	（軽井沢町）
12/11(金)～13(日) 12/19(土)～20(日)	天皇杯・皇后杯全日本選手権大会 ファイナルラウンド	（東京都）
12/12(土)	北信越バレーボール連盟 正副会長・委員長会議	（富山県）
12/17(木)	長野県スポーツ協会 理事長・競技力向上専門委員合同会議（国体種目）	（松本市）